

## 平成 29 年度研究開発評価人材育成研修（初級）実施要項

### 1. 趣旨・目的

研究開発評価に当たっては、評価に関する制度の理解や知識が必要であるが、大学や研究開発機関等では、評価を担当する事務職員がジョブローテーションで数年ごとに異動し、評価の経験・知識が蓄積されにくいなど、人材の集積や人材育成が進んでいない。このような背景の下、文部科学省では、研究開発評価の効率化及び質の向上に資するとともに、各機関における研究の推進や評価に関わる事務職員の質の向上を図る観点から、研究開発評価に関する基礎的な知識等の習得による、研究開発評価人材の育成を目的として、研究開発評価人材育成研修（初級）を実施する。

### 2. 対象者及び日程等

対象：大学、大学共同利用機関法人及び独立行政法人の研究開発評価に係る部署に所属し、研究開発評価の業務に 1 年から 3 年程度従事している事務職員（※）。

なお、平成 28 年度までの受講者は対象から除く。

（※）研究開発評価の業務とは、各機関における組織的な研究戦略の策定、戦略に基づいて実施される研究活動及び研究評価活動等に関連する業務を広く意味する。

（※）本研修は、研究開発評価の業務に関する、基礎的・体系的な知識等の習得や、実際の事例に係る情報共有をねらいとしたものであり、特定の評価手法等について専門的な研修を行うものではない。

（※）原則、係員～課長補佐級を対象としている。

定員：40 人程度

日程：平成 29 年 11 月 30 日（木）～12 月 1 日（金）

（詳細は別紙 1 のとおり）

場所：文部科学省 15F 特別会議室

### 3. 申込み

参加を希望する場合は、別紙 2 の申込書に必要事項を御記入の上、電子メールにて 11 月 10 日（金）17 時まで文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課評価・研究開発法人支援室 久郷（rd-hyoka@mext.go.jp）までお申し込みください。受講者の決定については、11 月 17 日（金）頃を目処（めど）に申込みのあった各機関に御連絡いたします。

なお、応募については各機関原則 1 名とさせていただきます。

## 平成 29 年度研究開発評価人材育成研修（初級）【日程表】（案）

時間	1日目(11月30日)	時間	2日目(12月1日)
会場	文部科学省15F特別会議室	会場	文部科学省15F特別会議室
13:00～ 13:05 (5分)	開会の挨拶 松岡 謙二 文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課長	10:00～ 14:00 (180分) ※途中、休憩(60分)を含む	【ワークショップ】 モデレーター:栗本 英和 名古屋大学教授 教養教育院副院長 評価企画室副室長
13:05～ 15:05 (120分)	【講義】 基礎編(研究開発評価の意義、体系、制度、評価の実施時期、評価方法、評価の活用のあり方、人材育成等)  講師:伊地知 寛博 成城大学社会イノベーション学部教授		ファシリテーター: 小湊 卓夫 九州大学基幹教育院准教授 鳶田 敏行 茨城大学全学教育機構准教授 遠藤 悟 日本学術振興会総務企画部専門調査役
15:05～ 15:25 (20分)	【アイスブレイク】 小湊 卓夫 九州大学機関教育院准教授 鳶田 敏行 茨城大学全学教育機構准教授		
休憩(15分)		休憩(15分)	
15:40～ 17:40 (120分)	【講義】 研究開発機関の評価、研究者等の業績評価  講師:林 隆之 (独)大学改革支援・学位授与機構研究開発部教授	14:15～ 14:45 (30分)	【講評・修了証授与】
17:40～ 18:05 (25分)	「最近の政策動向」 國分 玲子 文部科学省 科学技術・学術政策局企画評価課課長補佐		
移動(5分)		15:00	解散
18:20～ 19:20 (60分)	情報交換会(講師出席)		

※1 本日程は、現時点の予定であり、今後、内容等について変更となる場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

※2 2日目のワークショップでは、ロジックモデルの作成を通じて、評価において着目すべき基本的な観点等について考察することを予定しています。

